

2E LIC はびきの 開館20周年記念

関西フィルハーモニー管弦楽団 弦楽アンサンブルコンサート

Program

- ♪ モリコーネ: ニュー・シネマ・パラダイス
- ♪ モンティ: チャルダッシュ
- ♪ チャイコフスキー: 弦楽セレナード ハ長調 作品48 より“ワルツ”
- ♪ 久石譲: 『ハウルと動く城』より“世界の約束～人生のメリーゴーランド”
他



©SHIN YAMAGISHI

指揮: 藤岡 幸夫

2021年 1月 17日 (日) 14時00分開演 (13時15分開場)

13時40分より、藤岡幸夫氏によるプレトークを行います。

【会 場】 LICはびきの 1階ホールM

【入場料】 前売 指定席 2,000円 (当日300円増 未就学児入場不可)

【出 演】 指揮・司会 藤岡 幸夫 (関西フィルハーモニー管弦楽団 首席指揮者)

関西フィルハーモニー管弦楽団 弦楽アンサンブル

ヴァイオリン: 岩谷 祐之 (関西フィルコンサートマスター) / 泉谷 更沙 /
高本 みわ / 野口 まつの / 僧永 花恵 / 柏山 七海 / 齊藤 清

ヴィオラ: 中島 悦子 / 山本 知寛

チェロ: 大町 剛 / 玉木 俊太

コントラバス: 関 一平

感染予防対策のため、入場時に検温いたします。37.5度以上のお客様は入場をお断りいたします。
手指消毒・マスクの着用・連絡先のご記入をお願いします。

チケット販売所 LICはびきの チケット専用ダイヤル ☎ 072-950-5504
すばるホール 0721-26-2060 / SAYAKA ホール 072-365-9590 / ラブリーホール 0721-56-9633
チケット発売日 2020年10月17日(土) 9時00分～

お問合せ/羽曳野市立生活文化情報センター 〒583-0854 羽曳野市軽里 1-1-1 ☎ 072-950-5500
前売券完売の場合は当日券の販売はありません。

取得した個人情報は、イベントの管理に関する目的以外には利用いたしません。
羽曳野市個人情報保護条例(平成12年羽曳野市条例第43号)に基づいて適切に管理いたします。
障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
内容は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催/羽曳野市





藤岡幸夫 Sachio Fujioka, conductor

関西フィルハーモニー管弦楽団 首席指揮者

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。

「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1993年BBCフィルの定期演奏会が「タイムズ」紙などで高く評価され、翌1994年にロンドン夏の風物詩「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー。以降ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル等多くの海外オーケストラに客演。2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場ブリテン「ねじの回転」でスペインにオペラ・デビュー。その年の同劇場新演出作品のベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに輝き、2009年にR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で再び脚光を浴びた。2016年にはブリュッセルでA.デュメイ、V.アフアナシエフと共演。

2017年5月にはアイルランド国立交響楽団にマーラーの第5交響曲で客演、聴衆総立

ちの大成功を収めた。マンチェスター室内管弦楽団首席指揮者、日本フィルハーモニー交響楽団指揮者を経て、現在関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。毎年40公演以上を指揮し2020年に21年目のシーズンを迎える関西フィルとの一体感溢れる演奏は、常に聴衆を魅了し高い評価を得ている。大晦日のテレビ東京系全国ネット「東急ジルベスター・コンサート」「題名のない音楽会」などテレビ、ラジオへの出演も多く、番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30～)は放送300回を越え、2020年10月には7年目のシーズンを迎えた。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。東大阪市特別顧問。滋賀県長浜市PR大使(文化観光大使)。きょうと城陽応援大使。2019年4月、東京シティ・フィル首席客演指揮者に就任。現在、朝日新聞夕刊(関西版)に、エッセイ「音楽はお好きですか?」を連載中(毎月一回、第2木曜日に掲載)。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>



関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年ヴィエール室内合奏団として発足。後にヴィエール・フィルハーモニックと改称、海外演奏旅行を含め12年間にわたるオーケストラ活動を基盤に、1982年1月関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。1994年より常任指揮者に国際的に活躍するウリ・マイヤーが就任し、平成6年度大阪文化祭賞本賞を受賞した。2003年10月より特定非営利活動法人、2014年11月より認定NPO法人、2018年公益財団法人として生まれ変わり、関西を代表するオーケ

ストラの一つとして文化的・社会的貢献を果たすため、積極的に活動を続けている。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年1月より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年4月より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年1月より桂冠名誉指揮者に就任。作品の古典美を最上に引き出すデュメイとの演奏は、弾き振りも含めて内外から大きな注目を集めている。藤岡は、「Meet the Classic」や地方公演においてクラシック音楽ファンの裾野を広げるとともに、定期演奏会においても斬新な企画で注目を博し、古典派から現代作品の初演まで幅広く取り組んでいる。飯守は、ドイツ音楽の真髄を響かせるベートーヴェン・ブラームスのシリーズや、オーケストラを主体にした新しいアプローチによる「オペラ演奏会形式上演シリーズ」などで、古典からロマン派を中心に精神性溢れる質の高い演奏で好評を博している。人間の営みから生まれた音楽・・・『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開するとともに、地域密着を重視。関西出身の若手アーティストも積極的に起用している。活動に明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとしてますます好評を博している。2014年10月よりスタートしたBSテレビ東京の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30～)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー(合計5公演)を開催し、各地で大きな注目を集めた。2015年8月には、東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を締結した。2020年には、楽団創設50周年を迎えた。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

オフィシャル・ブログ <http://blog.livedoor.jp/kansaiphil/>